

世界の刺繍

Embroidery of the World

糸と針という簡単な道具で自由に文様を表すことができる刺繍は、古くから世界各地で行われてきました。刺繍の表現は地域や民族、階級によっても異なり、さらに家庭の女性が愛情を込めて作る素朴なものから、専門職人の高度な技術による複雑なものまで多種多様です。本展では、四季の情趣を表現した日本の刺繍、オート・クチュールの熟練の技が生み出すヨーロッパの華麗な刺繍、それぞれの民族で伝承された色彩や文様が表されたアジアやアフリカの民族衣装など、約35か国のさまざまな刺繍を紹介します。



- ① トルクメニスタンの女性たち 撮影：村上和巳
- ② 刺繍をするパレスチナ人の女性 撮影：村上佳代
- ③ 刺繍をするラバリ族の女性（インド） 撮影：松島きよえ
- ④ 刺繍をするシルサイ・バシュトゥン族の女性 撮影：松島きよえ
- ⑤ サリー インド 19世紀初期
- ⑥ 上衣（部分） フランス バルマン 1957年
- ⑦ 仕事着 福井県 明治～昭和時代初期
- ⑧ 婚取 朝香宮光子女子紀所用 明治～昭和時代初期
- ⑨ 女性用衣装 ニジェール 20世紀後半
- ⑩ 女性用衣装 パレスチナ地域 1930-40年代



文化学園服飾博物館 BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM

〒151-8529 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル
TEL.03-3299-2387 JR・京王線・小田急線新宿駅（南口）より徒歩7分
都営地下鉄新南口線/大江戸線/京王新線新宿駅（新都心口）より徒歩4分 地下道出入口10-1に隣接

学校法人文化学園
文化学園大学/文化ファッション大学院大学/文化服装学院
文化外国語専門学校/文化出版局/文化学園服飾博物館



Embroidery of the World

藍布または白布：カンタ
インド 20世紀初期 撮影：後藤節

世界の刺繍

2016.6.14 tue → 9.8 thu

開館時間/10:00~16:30(6月24日、7月15日は19:00まで開館、入館は閉館の30分前まで)
休館日/日曜日、祝日(ただし8月7日、21日は開館) 夏期休館:8月10日~17日
入館料/一般500円、大高生300円、小中生200円
※20名以上の団体は100円引き、障がい者とその付添者1名は無料
ギャラリートーク/7月16日(土)、9月3日(土)、各回13:30~(12:30より受付順30名)

文化学園服飾博物館
BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM

<http://museum.bunka.ac.jp>

